

第10章 その他のサービス

国立国会図書館では、「複写サービス」「貸出しサービス」「レファレンスサービス」のほかにも、全国の図書館に対してさまざまなサービスを行っています。この章では、それらのサービスの内容、問い合わせ先を紹介します。

10-1 目録・書誌等の作成・提供

当館は、日本における唯一の国立図書館として、納本制度などによって収集した国内刊行出版物の目録や索引を作成し、内外の各種図書館をはじめ広く一般に提供しています。

これらの書誌情報は、[国立国会図書館サーチ](#)のAPI及びダウンロードなど、様々な方法で自館のシステムに取り込み、無償で利用できます。

利用方法の詳細は、当館ホームページをご覧ください。

- 「当館ホームページ」>「書誌データの作成および提供」>「書誌データの提供」>「[書誌データの利用方法](#)」
- 「当館ホームページ」>「書誌データの作成および提供」>「書誌データの提供」>「[全国書誌データ](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 収集書誌部 収集・書誌調整課 書誌サービス係

TEL : 03-3581-2331 (内線 24560)

E-Mail : bib-dl@ndl.go.jp

10-2 全国的な図書館相互貸借の支援

当館は、総合目録ネットワーク事業として、都道府県立図書館および政令指定都市立図書館から和図書の書誌・所在情報を収集し、[国立国会図書館サーチ](#)を通じてサービスを提供しています。

検索サービスは一般に公開しており、どの図書館でもご利用いただけます。

相互貸借支援サービスは、事業参加館のみを対象としています。事業参加館は、国立国会図書館サーチの検索結果から相互貸借情報確認画面へ遷移でき、県域を越える資料所蔵館に対しても、電子メールもしくはFAXで相互貸借を依頼することができます。

参加申請を含む事業の詳細は、当館ホームページをご覧ください。

- 「当館ホームページ」>「図書館員の方へ」>
「[総合目録ネットワーク事業のページ](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係

TEL : 0774-98-1455

E-mail : somoku1@ndl.go.jp

10-3 レファレンス支援ツール

当館は、図書館員のレファレンス業務に資するため、「リサーチ・ナビ」、「レファレンス協同データベース」を作成し、インターネットを通じて提供しています。

(1) リサーチ・ナビ

リサーチ・ナビは、調査のポイントや参考になる資料、便利なデータベース、使える Web サイト、関係する機関など、調べものに役立つ情報を特定のテーマ、資料群別に紹介するものです。

- 「当館ホームページ」 > 「[リサーチ・ナビ](#)」
- 「国立国会図書館サーチ」 > 「[リサーチ・ナビ](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 利用者サービス部 サービス企画課

TEL:03-3581-2331 (代表)

(2) レファレンス協同データベース

「レファレンス協同データベース」は、当館が全国の図書館等と協同で構築している、調べものためのデータベースです。

事業に参加している図書館等で行われたレファレンスサービスの記録「レファレンス事例」、特定のテーマやトピックに関する情報源の調べ方「調べ方マニュアル」、個人文庫や貴重書など、参加館が所蔵する特殊なコレクションに関する情報「特別コレクション」、利用案内や連絡先など、各参加館の情報「参加館プロフィール」の4種類のデータが登録されています。

参加館になると、データを参照するだけでなく、自館のデータを蓄積するための機能、参加館が相互に支援し合うための機能もご利用いただけます。なお、参加に費用はかかりません。

- 「当館ホームページ」 > 「[レファレンス協同データベース](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係

TEL:0774-98-1475

E-mail: info-crd@ndl.go.jp

10-4 歴史的音源の公立図書館等への配信提供

「[歴史的音源](#)」とは、1900年代初めから1950年頃までに国内で製造されたSPレコードの音源をデジタル化したものです。歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化を行いました。落語、長唄、楽曲、歌劇、浄瑠璃、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズなど、さまざまなジャンルの音源が含まれています。

当館は、平成24年7月から、「歴史的音源」の公立図書館への配信提供の本格実施を始めました。また、平成25年10月から参加館の資格を緩和し、一般社団法人日本レコード協会と当館が協議の上認める調査研究機関等に対しても、配信提供を開始しました。「歴史的音源」

に含まれる音源のうち、著作権および著作権隣接権の保護期間満了を確認できた一部の音源についてはインターネットで公開していますが、それ以外の大部分の音源は、当館の施設内および歴史的音源配信提供参加館の施設内でのみ利用可能です。配信対象は、歴史的音源の全ての音源、約5万音源です。参加に費用はかかりません。

参加申請の詳細は、当館ホームページをご覧ください。

- 「当館ホームページ」>「国立国会図書館デジタルコレクション」>「歴史的音源」>
「[歴史的音源配信提供サービス](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 電子図書館課 電子化資料提供係

TEL:0774-98-1472

E-mail: rekion4Lib@ndl.go.jp

10-5 図書館員向け研修事業・調査研究活動

国内外の図書館員への支援の一環として、図書館員を対象とした研修、図書館および図書館情報学に関する調査研究・情報提供を行っています。

(1) 図書館員を対象とした研修

当館では、科学技術関係資料、古典籍資料、法令・議会・官庁資料などの所蔵資料や、レファレンス、資料保存といった業務において蓄積された知識や技術をもとに、研修を実施しています。集合研修、当館職員が他機関の主催する研修で講師を務める講師派遣型研修、インターネットを通じて提供する遠隔研修の3つの形態があります。

研修の開催予定、募集期間などは、当館ホームページや[メールマガジン『図書館協力ニュース』](#)でお知らせしています。(1-3 参照)

- 「当館ホームページ」>「図書館員の方へ」>「[図書館へのお知らせ](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 研修交流係 TEL: 0774-98-1444

(2) 図書館および図書館情報学に関する調査研究・情報提供

調査研究活動は、社会の変化に伴う図書館利用者のニーズの多様化や情報通信技術などの進歩に対応し、図書館業務の改善に資することを目的として、図書館および図書館情報学分野を対象に行っています。成果は、『図書館研究シリーズ』および『図書館調査研究レポート』などで発表しています。また、国内外の図書館界・図書館情報学分野の最新動向に関する情報を、ブログ形式の「カレントアウェアネス-R」、メールマガジン『カレントアウェアネス-E』および季刊誌『カレントアウェアネス』を通して提供しています。

これらの刊行物は、いずれも、当館ホームページの「カレントアウェアネス・ポータル」でご覧いただけます。

- 「当館ホームページ」 > 「[カレントアウェアネス・ポータル](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 調査情報係 TEL : 0774-98-1449

10-6 保存協力活動

当館は、国内外の図書館などの資料保存を促進するための保存協力活動を行っています。

(1) 情報発信・情報提供

資料保存業務の参考となる情報や調査研究の報告をホームページなどで発信しています。個別の問合せにも随時対応しています。

(2) 研修

資料保存の基礎的な知識と簡易な補修を学ぶ集合研修を実施するほか、国内の図書館などが資料保存に関する研修を行う際に講師を派遣しています（講師派遣型研修）。遠隔研修にも関連の科目を設けています。

(3) 情報共有・交流

専門家の意見聴取や実務担当者間の意見交換を行うための各種行事を開催しています。

(4) 資料の防災

ホームページで図書館資料の防災、被災からの復旧に役立つ情報を掲載しています。被災した図書館の資料を復旧する支援も行っています。相談を随時受け付けています。

また、当館は、国際図書館連盟・資料保存戦略プログラム（IFLA/PAC）アジア地域センターとして、アジア地域を中心に、世界各国の関係機関との資料保存に関する連携・協力を推進しています。

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

- 「当館ホームページ」 > 「[資料の保存](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 収集書誌部 資料保存課 TEL : 03-3506-3356

10-7 展示用資料の貸出し

国・地方公共団体の機関、社会教育・学術研究の団体など、公共的な団体が公共的性格を有する展示会を主催する場合、[国立国会図書館展示会出品資料貸出規則](#)に基づき、資料を貸し出しています。

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 文献提供課 参考係 TEL : 0774-98-1341

※ 児童書については

問い合わせ先 国立国会図書館 国際子ども図書館 資料情報課 情報サービス係
TEL : 03-3827-2053 (代表)

10-8 国立国会図書館の参観

図書館関係者で、当館の参観を希望される方は、以下の問い合わせ先にご相談の上、お申し込みください。詳細は各ホームページをご覧ください。

(1) 東京本館

- ・ 「当館ホームページ」 > 「東京本館」 > 「[東京本館の参観（見学）について](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 利用者サービス部 サービス運営課 サービス総括係
TEL : 03-3581-2331 (代表)

※ 外国人の参観については

問い合わせ先 国立国会図書館 総務部 支部図書館・協力課 協力係
TEL : 03-3581-2331 (代表) FAX : 03-3508-2934 E-mail : kokusai@ndl.go.jp

(2) 関西館

- ・ 「当館ホームページ」 > 「関西館」 > 「[関西館の見学・ガイダンス](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 総務課 総務係 TEL : 0774-98-1224

(3) 国際子ども図書館

- ・ 「国際子ども図書館ホームページ」 > 「利用案内」 > 「[見学・体験](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 国際子ども図書館 企画協力課
TEL : 03-3827-2053 (代表)

※ 児童・生徒向けの見学については

問い合わせ先 国立国会図書館 国際子ども図書館 児童サービス課
TEL : 03-3827-2053 (代表)

10-9 ISIL（図書館及び関連組織のための国際標準識別子）の付与および公開

ISILとは、International Standard Identifier for Libraries and related organizationsの略称です。国際標準規格ISO15511で定められており、図書館をはじめ博物館、美術館、図書館などの類縁機関に付与される国際的な識別番号です。日本のISILの構成は、例えば、「JP-1123456」のように、国名コードと機関種別（英数字1桁）に加え、個別機関ID（英数字記号6桁）の組み合わせからなります。

当館は日本の国内登録機関として、学校図書館を除く図書館およびその類縁機関を対象にISILを付与し、その情報をホームページで公開しています。ISILの新規登録申請、および登録情報更新申請は、ホームページの申請フォームからお申し込みいただけます。

- 「当館ホームページ」>「図書館員の方へ」>
「[図書館及び関連組織のための国際標準識別子\(ISIL\)](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係

TEL:0774-98-1454 E-mail:isil@ndl.go.jp

10-10 ISSN（国際標準逐次刊行物番号）の登録受付

ISSNとはInternational Standard Serial Numberの頭文字をとったもので、雑誌、新聞、紀要、年鑑、オンラインジャーナルなどの逐次刊行物およびその他の継続資料（以下「逐次刊行物等」）に与えられる国際的な識別番号です。7けたの数字および1けたのチェック用数字（0-9, X）で構成され、「ISSN 0027-9153」「ISSN 1344-722X」のようなかたちで表します。

ISSNは逐次刊行物等のタイトルおよび媒体と一対一で対応します。そのため、タイトルが変われば別の番号になります。また、同じ内容でも媒体が異なる場合（例えばオンラインジャーナルと冊子体）は、別の番号になります。

ISSNを管理する国際的な組織をISSNネットワークといい、パリにあるISSN国際センターが運営を統括しています。当館はISSN日本センターとして、ISSNの付与・管理を行っています。発行者の申請に基づき日本国内で発行される逐次刊行物等にISSNを割り当て、その書誌データを国際センターのデータベースに登録するほか、発行者などの変更情報を、登録済みの書誌データに反映しています。

申請は当館ホームページ上の申請フォームから行うことができます。また、当館ホームページから申請書をダウンロードしてご申請いただくこともできます。登録についての詳細はホームページをご覧ください。

- 「当館ホームページ」>「書誌データの作成および提供」>「[ISSN日本センター](#)」

問い合わせ先 国立国会図書館 収集書誌部 逐次刊行物・特別資料課 整理係
TEL : 03-3506-3355 FAX : 03-3581-1330 E-mail : issnjpn@ndl.go.jp

10-11 国立国会図書館の刊行物

当館では、当館の活動や各種サービスについて総合的に紹介する『国立国会図書館月報』をはじめ、立法調査資料や研究資料などを刊行しています。これらの刊行物については、当館ホームページに「刊行物」のページを設け、「近刊一覧」「刊行物のご案内」などを掲載しています。また、一部の刊行物はホームページで全文を掲載しています。

- 「当館ホームページ」 > 「[報告書・刊行物](#)」

※ 国際子ども図書館の刊行物については

- 「国際子ども図書館ホームページ」 > 「国際子ども図書館について」 > 「[刊行物](#)」

入手についての詳細は、各刊行物のページでご確認ください。